

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和 4年8月5日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	子ども・福祉政策部地域福祉政策課
-----	--------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2 県民に対する介護講座事業の実施 3 福祉用具の調査研究、展示、試用貸出、収集及び保管管理 4 ふくし交流プラザふれあいショップの運営 5 自主提案事業 <令和3年度> 1)シルバー手づくり展開催事業 2)障害児支援に係る事業(障がいキッズ&パパママ応援事業) 3)施設を活用した生活困窮者支援事業		
施設内容	施設名:高知県立ふくし交流プラザ 設備:1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で209台/無料)完備 面積:【土地】8,187.83㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間:9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日:毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日 貸室:各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	常勤職員:5人 非常勤職員:4人 事務職員:1人 合計:10人		

2 収支の状況

(単位:千円)

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
収入	県支出金	64,205	69,599	69,389
	使用料・手数料	10,890	12,257	13,792
	負担金	6,817	9,663	10,110
	その他	2,408	1,170	1,675
	収入計 (a)	84,320	92,689	94,966
支出	事業費	6,028	4,542	7,746
	管理運営費	55,620	58,587	62,484
	人件費	24,650	25,347	24,736
	その他	9,332	1,000	0
	支出計 (b)	95,630	89,476	94,966
収支差額(a)-(b)		-11,310	3,213	0

3 利用状況

	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	38,421	38,261	75,000
②利用者意見等の反映	○貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:令和3年度:貸室事業や運営・管理に関する意見 4件。		
	○事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:講座受講者のニーズを把握し、事業企画に反映している。		
	○利用者意見等を踏まえた対策 対応可能な意見等については、速やかに対応することとしている。		
③その他特記事項			

4 令和3年度業務評価

項目		評価	状況説明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画及び危機管理マニュアルを整備して定期的な訓練を実施し、緊急時に速やかに対処できる体制を整えている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各出入口に非接触型検温機を設置し、安心、安全に利用できるよう整備できている。 ・インターネットでの研修等に対応するため、Wi-Fi環境を整備し、利用者へのサービス向上を図っている。 ・施設の維持修繕について、建築設備の定期点検や保守点検のほか、電気温水器の取り換えなど、老朽化した建物や機器の修繕等を実施している。 ・駐車場の混雑が予想される場合は、シルバー人材センターからの要員派遣による駐車場の整理や近隣にある看護協会等駐車場を借用するなど、利用者の利便性の向上に努めている。また、高知市の所有地を借用し、プラザ第6駐車場として運用するなど、駐車場の不足解消を図っている。 ・貸室全体の利用日数は延べ1,516日でR2年度より134日(9.7%)増加した。また、利用者数は延べ38,261人で、R2年度より160人(0.4%)減少した。利用料収入は、12,257千円で、R2年度から1,367千円(12.5%)増加した。
	利用者サービスの維持向上		
	利用実績		
	収支の状況		

福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験、車椅子体験、テーマ別の介護講座など、高齢者、障害者、介護者への理解及び支援等の講義や演習等を実施し、広く県民に福祉に関する啓発を行った。
	福祉用具の展示及び管理		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の相談については、専門知識を有する専門相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。(福祉用具展示コーナー相談件数:773件) ・最新の福祉用具の展示、福祉用具の試用貸出も実施している。(福祉用具の試用貸出:748件)
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいショップ運営事業により、高齢者や障害のある方の創作品を展示・販売し、高齢者や障害のある方の健康・生きがいづくりに寄与した。(販売点数:801点、販売額:1,065,929円)
	福祉を担う人材の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の福祉機器展以外にも、障害のある子ども、家族、その他関係者等を対象とした障がいキッズ&パパママ応援事業等を開催し、制度や最新の支援機器の情報の提供、相談窓口の設置等により、支援者の資質向上や連携強化を図っている。
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		

項目	状況説明
総合評価	<p>・高知県社会福祉協議会による管理は第3期、14年目となり、ノウハウも一定蓄積し、高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした運営が行われている。</p> <p>・運営に対する利用者からの意見を収集するための意見箱の設置など、施設の利便性向上に向けた取組を実施し、速やかな対応が行われている。</p> <p>・施設の維持修繕について、計画的に実施し改善を図っている。今後も引き続き法定点検の適切な実施や施設の計画的な維持修繕の実施など、適正な施設・設備の管理を求める。</p> <p>・イベントが重なり駐車場が不足する見込みがある場合は、近隣にある複数の駐車場の借用や、駐車場整理要員の派遣を実施するなど、利用者には不便が生じないよう機動的な対応がとられている。また、年間を通じて高知市の所有地を借用し、第6駐車場として整備、運用することにより、利便性の向上を図っている。</p> <p>B</p> <p>・新規事業として施設を活用した生活困窮者支援事業を開始し、フードドライブボックスを設置して食品を受け入れ、困っている方々の生活の基盤を支える活動を推進した。</p> <p>・今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの